



資料編

年表

年	主 な 事 項
1719(享保4)	萩藩6代藩主毛利吉元、萩に明倫館を創建(1.12) 創立時、似閑本多数を伝写する(山口県立図書館に現存)
1769(明和6)	上田茂右衛門(鳳陽)、萩藩の下級藩士宮崎猪兵衛在政の三男として生まれる
1779(安永8)	毛利重就、滝鶴台の建白をもとに明倫館の仕法をあらため、文武興隆・人材抜擢をはかる(3)
1800(寛政12)	上田鳳陽、明倫館に入学(11) 9年間在学
1815(文化12)	上田鳳陽、山口講堂設立(4.15) 藩主斉熙、氷上山興隆寺参詣の途中、山口講堂における門弟18名の勉学を視察(4.19)
1816(文化13)	上田鳳陽、萩明倫館に再入学(8)
1840(天保11)	村田清風、明倫館の拡充を藩主に建言
1845(弘化2)	山口講堂を山口講習堂と改称(1)
1848(嘉永元)	村田清風、明倫館再興用掛となる(9)
1849(嘉永2)	明倫館萩江向へ拡張移転(2) 萩南苑の医学所を明倫館に移し、済生堂と改称
1850(嘉永3)	医学所済生堂を好生館と改称、新築落成(6)
1853(嘉永6)	上田茂右衛門(鳳陽)没(85歳)(12.8)
1858(安政5)	萩明倫館より島田清吉・平田源吾の両名を山口講習堂へ教育掛として派遣(8)
1859(安政6)	山口講習堂の稽古方経費を明倫館の経費より支出(1) 明倫館助教山県半蔵を山口講習堂へ派遣して諸事を統率させる(明倫館の管轄下へ組み込まれる)
1860(万延元)	藩の学制改革に伴い、山口講習堂で洋式銃陣の操錬を実施する(1.12) 山口講習堂に練兵場を新設する(8) 山口講習堂を藩政府の直轄とし、その教官は明倫館助教と兼任し、総てを明倫館の学制によることになる(11)

年	主 な 事 項
1861(文久元)	明倫館直轄後初の山口講習堂稽古式(1.12) 山口講習堂を中川原から亀山の東麓(長山)へ拡充・移転(9) 11月より授業開始 明倫館内の好生堂を萩瓦町に新築移転。好生堂あとに博習堂を移す
1863(文久3)	大村益次郎が明倫館兵学寮総官・教授として山田顕義等普門寺塾(別名三兵塾)生に対し士官教育を行う 山口講習堂を山口明倫館と改称。従来の明倫館を萩明倫館に(11.26) 山口講習堂での小学教育を制度化、教諭役高橋真作宅を藩が借り上げ開校。後、山口県師範学校敷地に移転
1864(元治元)	山口明倫館文学寮を本学寮・漢学寮の二部に分ける(7) 萩明倫館内の洋学館博習堂を山口博習堂と合併(7) 山口明倫館の学業・訓練中止(10.25) 山口明倫館兵学寮を萩に移す(11) 山口明倫館廃止(12.12)
1865(慶応元)	一旦廃業となった、山口明倫館文学寮所管の小学舎を再開。山口町奉行の所管とし士庶の別なく入学を許可する(3) 山口明倫館復興(4) 毛利敬親父子、山口明倫館で文武研修の要を訓示(5) 高禄の士の子弟教育のため山口明倫館に学舎を特設(成器塾)(11)
1866(慶応2)	文学寮歩兵塾騎兵塾砲兵塾小学舎諸会定日を定める(1.18) 兵学寮三兵学科塾規則を定める(1.23) 成器塾を拡張しその教育は世子元徳の親裁と定める(3.22) 山口明倫館の経費、年額米2千石と定める(12.8)
1867(慶応3)	諸郡に郷校を設置(4) 郷校を明倫館に附属させる 萩明倫館50周年記念祭を山口明倫館で行う(5.25)
1868(明治元)	鷹司淳丸・壬生胤丸、山口明倫館成器塾で修学(3) 長崎から英語通訳伊藤弥次郎を招き、山口明倫館兵学寮に英学科を新設(6) 明倫館を文学・兵学の2寮にわけ

年	主 な 事 項
1869(明治2)	明倫館の小学規則などを制定し学制を改革する(1)
1870(明治3)	中小学規則の公布により萩明倫館を萩中学に、山口明倫館を山口中学と改める(11.13) 諸郡の郷校を小学と改称、山口中学の管轄になる 仏人クローゼにより仏学の講義(8)
1871(明治4)	山口中学に独人ベルリンを雇いドイツ学伝習所を開設する(2.10) 山口中学に外国人教師英人ダルネー夫妻を招請する(11)
1872(明治5)	大学所定中小学規則に準拠し本校学科過程改正案を定める(3) 山口・萩・岩国・豊浦の4変則中学を設立 文部省布達13号をもち従来旧藩の学校は廃止。山口中学は学規改更のため一旦停止する(9)
1873(明治6)	4変則中学を廃し、山口変則小学・萩変則小学を設立
1874(明治7)	山口・岩国に教員試験所を開設 山口教員養成所及び同付属小学を設置 山口・萩両変則小学を鴻城学舎・巴城学舎とする
1875(明治8)	鴻城学舎・巴城学舎を毛利家の私立とする
1877(明治10)	山口県教員養成所を山口県師範学校と改称
1878(明治11)	山口白石に山口栽培試験場開設 鴻城学舎を私立山口中学校、巴城学舎を同萩分校と改称
1880(明治13)	県下を5学区に分け、岩国・徳山・山口・豊浦・萩に県立中学校を設置 山口県、私立学校条例制定
1882(明治15)	山口県教育会設立
1883(明治16)	山口県中学校諸則の制定 農学校通則公布 山口栽培試験場内に農事講習会を開設
1884(明治17)	萩・豊浦・徳山・岩国の4中学校を山口中学校の分校に 山口県師範学校に女子師範学科を設置 防長教育会の設立(毛利元徳らの主唱) 山口栽培試験場内に獣医講習会を開設

年	主 な 事 項
1885(明治18)	山口県師範学校を山口師範学校と改称 農事講習所を廃し、山口農学校開校 獣医学科設置
1886(明治19)	山口師範学校を山口県尋常師範学校と改称 山口中学校を山口高等中学校とし、文部省の所管とする
1889(明治22)	鴻城義塾創設
1890(明治23)	山口農学校を大内村氷上に移転
1894(明治27)	「高等学校令」公布(高等中学校を高等学校に改称・改組) 山口高等中学校を山口高等学校と改称
1895(明治28)	山口農学校を山口県農学校と改称 防長教育会経営の山口学校を尋常中学校に
1898(明治31)	山口県尋常師範学校を、山口県師範学校と改称
1901(明治34)	山口県農業学校を山口県立農業学校と改称
1902(明治35)	私立山口県教育会設立
1905(明治38)	山口高等学校を山口高等商業学校に改称 防長女子教育会の創立
1910(明治43)	県立農業学校を小郡に移転
1912(明治45)	山口県教育会、私立防長教育博物館を設置
1914(大正3)	県立室積工業学校を廃し、山口県室積師範学校創設(4) 山口県師範学校を山口県山口師範学校と改称(4)
1915(大正4)	山口県山口師範学校に農業教員養成所を附設(4)
1916(大正5)	山口高等商業学校に支那貿易講習科設置(4)
1917(大正6)	山口高等商業学校東亜経済研究会発足(2) 機関誌「東亜経済研究」創刊(5)
1918(大正7)	支那貿易講習科を支那貿易科と改称
1919(大正8)	官立山口高等学校を創設(4)

年	主 な 事 項
1920(大正9)	山口高等学校を山口系米に新築移転(9) 山口県山口師範学校を山口県師範学校、山口県室積師範学校を山口県女子師範学校と改称(4) 山口県女子師範学校に山口県家事裁縫科教員養成所を併設(4) 山口県立農業学校に山口県農業教員養成所を附設(6)
1921(大正10)	山口県農業教員養成所を山口県立実業補習学校農業科教員養成所と改称(4) 山口県女子師範学校に山口県立女子実業補習学校教員養成所を併置(4)
1923(大正12)	山口県立農業学校を山口県立小郡農業学校と改称(4)
1933(昭和8)	山口高等商業学校東亜経済研究所発足(4)
1935(昭和10)	山口県立実業補習学校農業科教員養成所を山口県立青年学校教員養成所と改称(4) 山口県立女子実業補習学校教員養成所を山口県立女子青年学校教員養成所と改称(4)
1939(昭和14)	官立宇部高等工業学校設置(5) 山口県立小郡農業学校に第二部獣医科を設置(4) 山口県立女子青年学校教員養成所を防府市に移転(10)
1940(昭和15)	官立宇部高等工業学校を常盤台新校舎に移転(4)
1941(昭和16)	山口県立青年学校教員養成所を防府市に移転、女子部と併合(4)
1943(昭和18)	山口師範学校が官立となる(4)
1944(昭和19)	山口県立山口高等獣医学校を小郡に設置(1) 官立宇部高等工業学校を官立宇部工業専門学校と改称(4) 山口県立医学専門学校を設立(4) 官立山口青年師範学校の創設(防府市)(2) 山口高等商業学校を山口経済専門学校と改称(4)
1945(昭和20)	山口県立山口高等獣医学校を山口県立山口獣医畜産専門学校と改称(3)
1946(昭和21)	食糧危機のため、山口高等学校の夏季休暇を40日間延長する(9)

年	主 な 事 項
1947(昭和22)	山口県立医科大学の設置が許可され、予科の開設(6)
1948(昭和23)	山口県立山口獣医畜産専門学校が下関市長府に移転(12)
1949(昭和24)	山口大学発足 (文理・教育・附属学校・経済・工学・農学・附属図書館)(5.31) 初代学長松山基範着任(6.1) 本部仮事務室を経済学部内に設置(7.12) 第1回入学式(7.15) 山口大学学則制定(8.24) 開学式挙行(於経済学部講堂)(11.5)
1950(昭和25)	「山口大学学報」第1号発刊(2.21) 山口高等学校廃止(3.31) 開学記念式(於経済学部講堂)(6.1) 開学記念祭(11.2-12) 山口市主催、山口大学後援の学都祭挙行(12.1-5)
1951(昭和26)	山口師範学校・山口青年師範学校・山口経済専門学校・宇部工業専門学校廃止(3.31)
1952(昭和27)	山口獣医畜産専門学校廃止(3.31) 農学部附属農場開場(11.1)
1953(昭和28)	第1回卒業式(於経済学部講堂3.28) 教育学部附属防府高等学校廃止(3.31) 大学本部を経済学部構内から新道庁舎に移転(6.26) 初の学長選挙により松山基範氏学長就任(7.1) 農学部附属家畜病院設置(8.1) 工業短期大学部併設(機械科・工業化学科)(8.1) 学生健康相談所開設(教育学部時養寮内)(9.11) 学生相談室開設(経済学部校内)(11.16)
1954(昭和29)	経済学専攻科・経済学部高等学校商業教員養成課程設置(4.1) 創立5周年記念祭(6.1-3) 文理学部が山口市系米から後河原に移転(8.27) 湯川秀樹博士学術講演(12.30)
1955(昭和30)	教育学部時養寮1棟焼失(2.28)
1957(昭和32)	教育学部光分校廃止(3.31)
1958(昭和33)	故松山基範学長大学葬(2.4)

年	主 な 事 項
1958(昭和33)	工学部電気工学科・工学専攻科設置(4.1) 工学専攻科設置(機械工学専攻、 鉱山学専攻、工業化学専攻、土木 工学専攻)(4.1) 田中晃学長就任(6.14)
1959(昭和34)	農学専攻科(農学専攻・獣医学専 攻)設置(4.1)
1960(昭和35)	教育学部防府分校廃止(3.31) 鈴木大拙公開講演会(教育学部 講堂)(10.21)
1962(昭和37)	工学専攻科に電気工学専攻科設 置(4.1) 市川禎治学長就任(6.14)
1963(昭和38)	工学部生産機械工学科設置(4.1)
1964(昭和39)	山口県立医科大学を移管して医 学部設置(4.1) 教育学部教育専攻科設置(4.1) 工学部鉱山学科を資源工学科と 改称(4.1) 第162回評議会において平川地 区に統合移転を決定(9.9)
1965(昭和40)	第1回山口大学名誉教授称号授 与式(3.23) 工業短期大学部電気科増設(4.1) 経済学部創立60周年記念式(於 経済学部講堂)(12.10)
1966(昭和41)	文理学部を改組して教養部設置 (4.1) 大学院工学研究科設置(4.1) 工学専攻科廃止(4.1) 教育学部養護学校教員養成課程 設置(4.1) 教育学部附属幼稚園設置(4.1) 工業短期大学部土木科増設(4.1) 統合移転用地買収完了(4.30) 農学部移転完了(10.25)
1967(昭和42)	教養部移転完了(3.31) 農学部農芸化学科設置(4.1) 大学院医学研究科設置(4.1) 大学院工学研究科生産機械工学 専攻設置(4.1) 医学部附属病院設置(6.1) 医学部附属看護学校、医学部附 属衛生検査技術学校設置(6.1) 吉田遺跡調査団発足(6.8)
1968(昭和43)	福利厚生施設として白石荘開設 (2.15) 山口県立医科大学・大学院廃止 (3.31) 文理学部移転完了(10.24) 事務局、学生部移転完了(11.2)

年	主 な 事 項
1969(昭和44)	農学専攻科廃止(3.31) 工学部化学工学科設置(4.1) 大学院農学研究科(農学専攻、獣 医学専攻)設置(4.1) 工業短期大学部学科制となる(4.1) 「山大広報」第1号発刊(12.15)
1970(昭和45)	附属図書館落成式(3.10) 理学専攻科設置(4.1) 保健管理センター設置(4.17)
1971(昭和46)	一部学生による本学学長室及び 事務局長室占拠(2.23-3.21) 大学院農学研究科農芸化学専攻 設置(4.1) 力武一郎学長就任(4.1) (吉田地区)放射性同位元素総合 実験室設置(4.13)
1972(昭和47)	山口大学電子計算機室設置(3.14) 文学専攻科設置(4.1) 教育学部移転完了(8.4)
1973(昭和48)	経済学部移転完了(1.13) 中村正二郎学長就任(4.1) 山口大学統合移転記念式挙 行(11.18)
1974(昭和49)	工業短期大学部情報処理工学科 増設(4.1) 医学部創立30周年記念式(於渡 辺翁記念館)(11.22)
1975(昭和50)	教育学部幼稚園教員養成課程設 置(4.1) 工学部電子工学科設置(4.1) 大学院経済学研究科(経済学専 攻)設置(4.1) 教員養成百周年記念式典(10.19)
1976(昭和51)	大学院工学研究科化学工学専攻 設置(4.1)
1977(昭和52)	埋蔵文化財資料館竣工(3.28) 経済学部国際経済学科設置(4.1) 故中村正二郎学長大学葬(12.19)
1978(昭和53)	小西俊造学長就任(3.1) 文理学部を改組して、人文学部、 理学部設置(6.17)
1979(昭和54)	大学院工学研究科電子工学専攻 設置(4.1) 教育学部附属養護学校設置(4.1) 山口大学創立30周年記念式典(於 経済学部大講義室)(6.1) 医療技術短期大学部設置(10.1)
1980(昭和55)	山口大学標章(シンボルマーク)制 定(4)

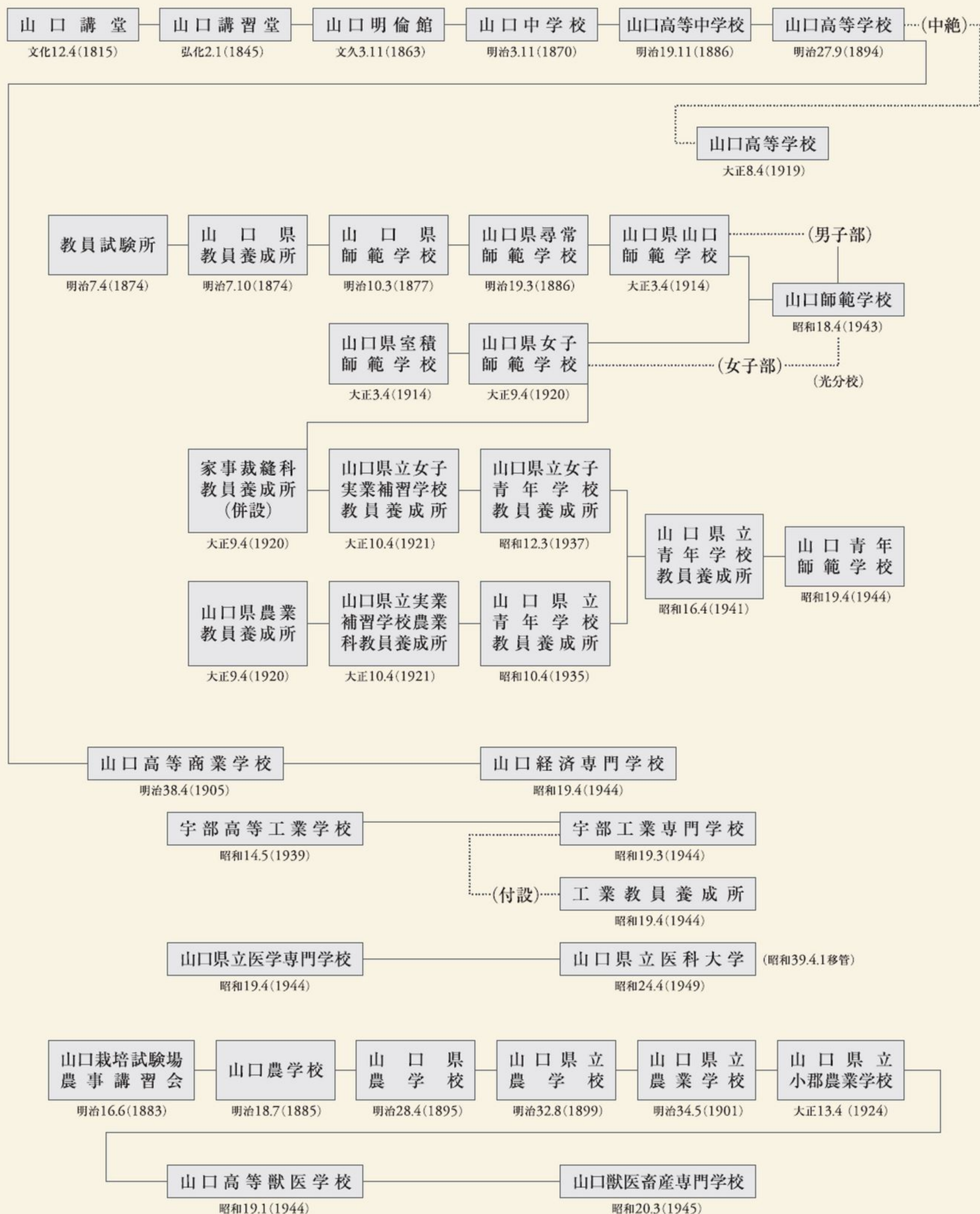
年	主 な 事 項
1980(昭和55)	経済学部経済法学科設置(4.1) 工学部建設工学科設置(4.1)
1981(昭和56)	医学部附属動物実験施設設置(4.1) 情報処理センター設置(7.28) 山梨大学から初の交換留学生来学(12.23)
1982(昭和57)	医学部附属看護学校廃止(3.31) 理学専攻科廃止(3.31) 電子計算機室廃止(3.31) 大学院理学研究科設置(4.1) 山口大学30年史発行(12.1)
1983(昭和58)	医学部附属臨床検査技師学校廃止(3.31) 山口大学と山梨大学との学術交流協定締結(6.2) 工業短期大学部創立30周年記念碑除幕式並びに記念植樹(8.1)
1984(昭和59)	大学院工学研究科建設工学専攻設置(4.1) 栗屋和彦学長就任(5.16) 医学部創立40周年記念式典(9.23)
1985(昭和60)	文理学部廃止(3.31) 大学会館設置(4.1) 第1回大学院人文科学研究科入学式(4.25)
1986(昭和61)	旧制山口高等学校創設100周年記念会(大学会館)(9.10)
1988(昭和63)	国際交流会館設置(4.1)
1989(平成元)	教育学部総合文化教育課程設置(4.1) 鳥取大学大学院連合農学研究科に参加(4.1) 山口大学創立40周年記念巡回講演会(11.7-29萩市、下関市、岩国市、宇部市、山口市)
1990(平成2)	大学院農学研究科獣医学専攻廃止(3.31) 大学院連合獣医学研究科設置(4.1) 三分一政男学長就任(5.16) 工学部全学科及び工業短期大学部、大学院工学研究科を改組(10.1) 工学部の全学科及び工業短期大学部改組(10.1)
1991(平成3)	大学院教育学研究科設置(4.1) 地域共同研究開発センター設置(4.12)
1992(平成4)	機器分析センター設置(4.10)

年	主 な 事 項
1992(平成4)	週休2日制の施行に伴う週5日授業の導入(5.12)
1993(平成5)	工業短期大学部廃止(3.31) 人文社会学科、言語文化学科を設置(4.1) 村上恵学長就任(5.16)
1994(平成6)	遺伝子実験施設設置(6.24) 「医心館」開館記念式(9.14) 医学部創立50周年記念式典(11)
1995(平成7)	理学部の全学科改組(4.1) 総合情報処理センター設置(4.1) 大学院経済学研究科企業経営専攻設置(4.1) 経済学部「商品資料館」竣工記念式(4.26)
1996(平成8)	教養部廃止(3.31) 工学部感性デザイン工学科設置(4.1) 共通教育センター設置(4.1) 廣中平祐学長就任(5.16) 「山口大学おもしろプロジェクト」初の公募開始(9.1) ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設置(9.10)
1997(平成9)	附属教育実践総合センター設置(4.1) 理学研究科と工学研究科を理工学研究科に改称(4.1) 附属図書館の日曜開館実施(4.1) 第1回大学院理工学研究科入学式(4.21)
1998(平成10)	大学院理工学研究科環境共生工学専攻(博士課程)(独立専攻)設置(4.1)
1999(平成11)	山口大学同窓会連合の結成(1) 山口大学50周年記念誌発行(3) 山口大学創立50周年記念式典(4.23) イコール・パートナーシップ委員会発足(5.11) 第2学生食堂竣工記念式典(12.1)
2000(平成12)	時間学研究所開設(4.1) 医学部保健学科設置(10.1)
2001(平成13)	東アジア研究科新設(4.1) アドミッションセンター設置(4.25) 総合研究棟(吉田)竣工記念式典(11.28)
2002(平成14)	メディア基盤センター、大学教育センター、留学生センター、産学公連携・創業支援機構設置(4.1) 加藤紘学長就任(5.16)

年	主 な 事 項
2003(平成15)	医療技術短期大学部の廃止(3.31)
2003(平成15)	ビジネスインキュベーション施設、総合科学実験センター、知的財産本部、工学部附属ものづくり創成センター、エクステンションセンター設置(4.1)
2004(平成16)	新しいシンボルマーク・シンボルカラーの制定(1.5) 国立大学法人化(4.1) 国際センター(4.1)
2005(平成17)	大学院技術経営研究科(MOT専門職大学院)新設(4.1)
2006(平成18)	「開放授業」開始(4) 長州五傑記念碑除幕式(4.26) 「大学コンソーシアムやまぐち」設置(5.31) 丸本卓哉学長就任(5.16)
2007(平成19)	動物医療センター改称・改修記念式典(1.5) 「山口大学憲章」制定(2.15) 「山口大学まんじゅう」発売(3.2)
2008(平成20)	「明日の山口大学ビジョン」策定(2) 事務局1号館改修(3) 山口大学東亜経済研究所竣工(5.14)
2009(平成21)	山口大学ブランド「純米大吟醸長州学舎」誕生(3.9) 常盤女子寮竣工(3.23)
2010(平成22)	工学部創立70周年記念式典(1.22) 「共育の丘」およびモニュメント「Gravitation」設置(4) 東アジア研究科・経済学研究科棟が設置(5) 放送大学と包括的連携協力に関する協定を締結(11.15)
2011(平成23)	山口県ドクターヘリ運用開始(1.21) 吉田寮1号棟の改修完了(3.29)
2012(平成24)	共同獣医学部創設(4.1) 第1回創基200周年記念基幹シンポジウム開催(6.1) 研究推進戦略室(URA)設置(6.1) 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を医学部附属病院に導入(8.29) 山口大学マスコットキャラクター「ヤマミィ」初登場(11.22) 第2回創基200周年記念基幹シンポジウム開催(12.5)

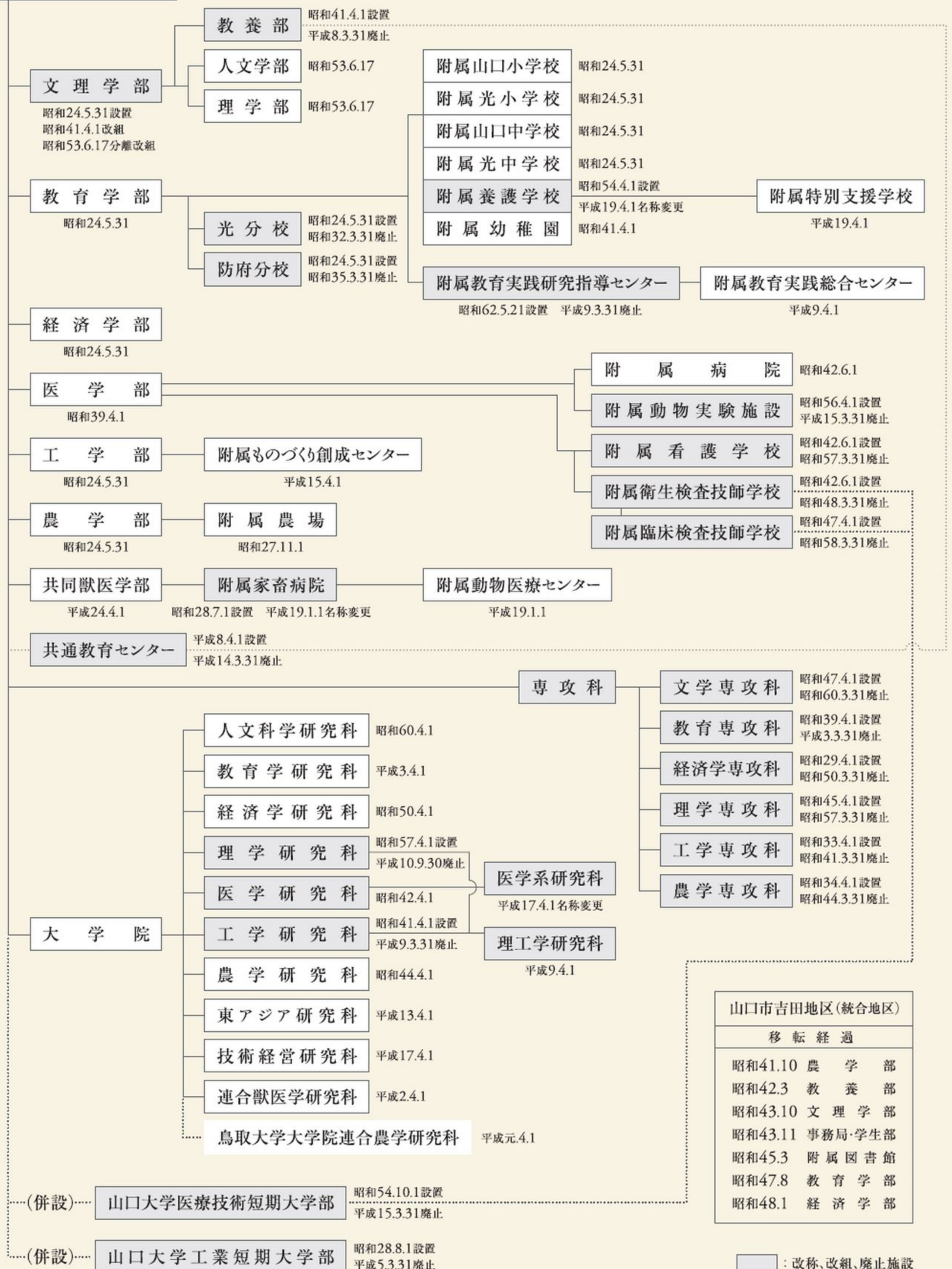
年	主 な 事 項
2013(平成25)	第1回山口大学ホームカミングデーを開催(11.23) 第3回創基200周年記念基幹シンポジウム開催(11.30)
2014(平成26)	総合図書館増築・改修竣工記念式典(3.18) 山口講堂跡記念碑除幕式(3.25) 岡正朗学長就任(4.1) 第2回山口大学ホームカミングデーを開催(10.4) 第4回創基200周年基幹シンポジウム開催(10.4)

沿革



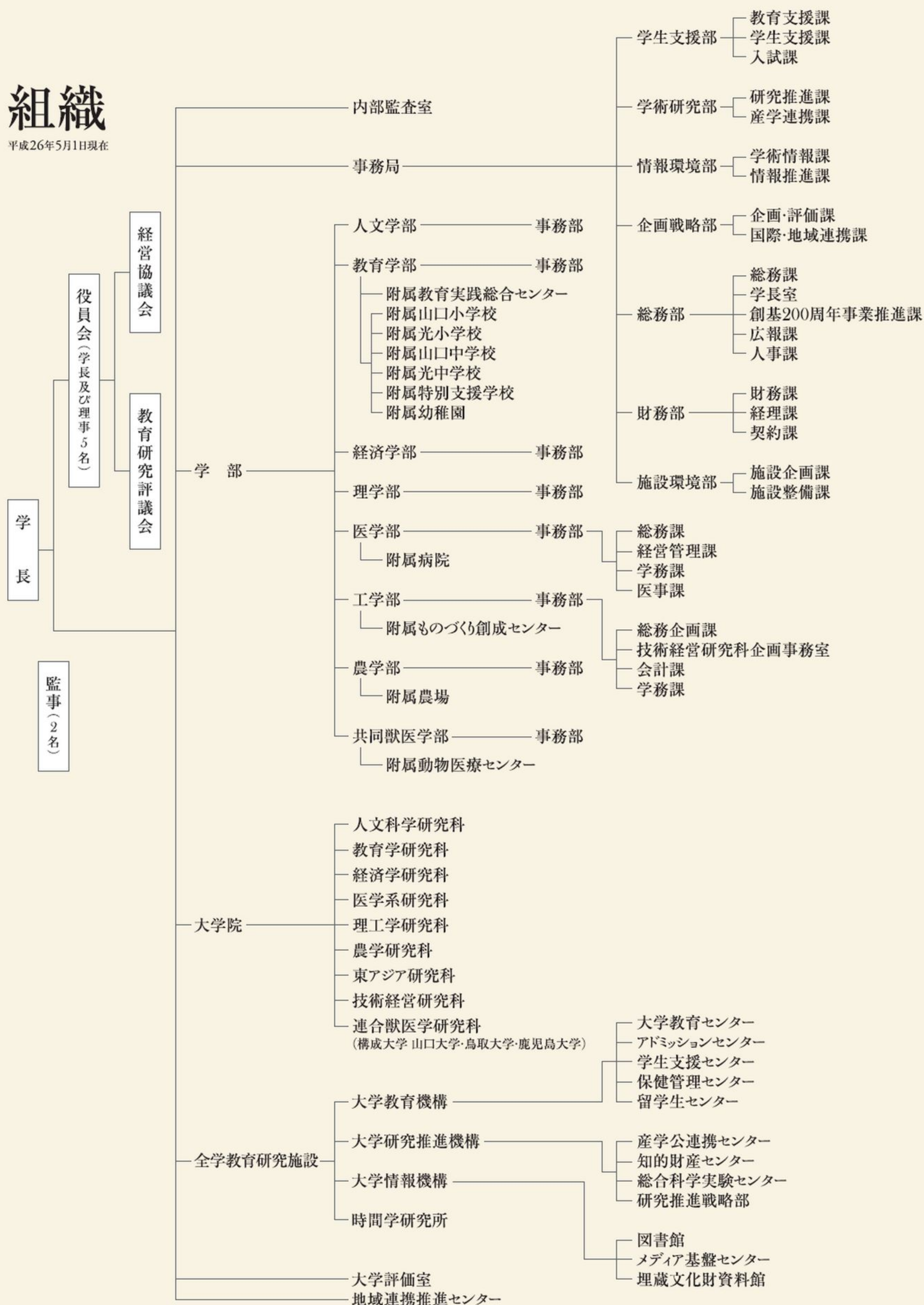
山 口 大 学

昭和24.5.31



組織

平成26年5月1日現在



鳥取大学大学院連合農学研究科(構成大学 鳥取大学・島根大学・山口大学)

歴代学長



初代
松山 基範
昭和24年5月31日～
昭和33年1月27日



2代
田中 晃
昭和33年6月14日～
昭和37年6月13日



3代
市川 禎治
昭和37年6月14日～
昭和44年3月31日



4代
力武 一郎
昭和46年4月1日～
昭和48年3月31日



5代
中村 正二郎
昭和48年4月1日～
昭和52年12月4日



6代
小西 俊造
昭和53年3月1日～
昭和59年3月1日



7代
栗屋 和彦
昭和59年5月16日～
平成2年5月15日



8代
三分一 政男
平成2年5月16日～
平成5年5月15日



9代
村上 憲
平成5年5月16日～
平成8年5月15日



10代
廣中 平祐
平成8年5月16日～
平成14年5月15日



11代
加藤 紘
平成14年5月16日～
平成18年5月15日



12代
丸本 卓哉
平成18年5月16日～
平成26年3月31日



13代
岡 正朗
平成26年4月1日～

名誉教授

平成26年4月1日現在

称号授与年月日	氏 名	所 属
昭40.1.19	米澤 直人	文理学部
昭41.4.26	岡崎 虎雄	文理学部
〃	樋口 誠一	工学部
昭43.5.14	松山 英太郎	工学部
昭45.4.7	田中 弘道	教養部
〃	山仲 幸夫	教養部
昭45.5.12	上村 幸次	文理学部
〃	池本 喬	文理学部
〃	濱田 清吉	教育学部
〃	田中 晃	文理学部
昭46.5.11	末兼 敏男	農学部
昭47.5.16	小野 晋	文理学部
〃	白木 不二男	教育学部
〃	星出 兵馬	教育学部
〃	小倉 武雄	教育学部
〃	今川 博	工学部
昭48.4.10	力武 一郎	学長
〃	福島 文人	経済学部
昭48.5.8	波根 治郎	教育学部
〃	石黒 秀雄	農学部
昭49.5.14	高橋 英太郎	文理学部
〃	小池 富男	教育学部
昭49.7.24	城 温三	工学部
昭49.11.12	小畑 龍雄	文理学部
昭50.5.13	小西 那太郎	文理学部
〃	徳久 正敏	文理学部
〃	山本 武夫	教育学部
〃	水田 巖	教育学部
〃	山口 弘孝	医学部
昭50.6.10	安田 充	経済学部
昭50.2.2	不破勝 敏夫	経済学部
昭51.5.11	坪郷 勉	教育学部
〃	徳光 直	教育学部
〃	時政 文雄	教育学部
〃	片山 正夫	教育学部
〃	秋草 實	経済学部
〃	丹生 治夫	医学部
〃	本庶 正一	医学部
昭52.1.18	加々美 一二三	工業短期大学部
昭52.2.15	三瀬 淳一	医学部
昭52.5.10	亀井 定雄	教育学部
〃	野瀬 善勝	医学部
〃	土井 彌太郎	農学部
〃	森津 孫四郎	農学部
昭52.6.14	松岡 利夫	文理学部
〃	真田 正夫	文理学部
昭53.3.14	林 良二	医学部
昭53.5.9	田中 常正	教育学部
〃	西脇 良三	教育学部
〃	森 豊幸	教育学部
〃	小野 忠熈	教育学部
〃	中村 敬三	医学部
〃	村田 淳	工学部
〃	最上 幸夫	工学部
〃	吉松 廣延	教養部
昭54.4.10	下瀬 育郎	文理学部

称号授与年月日	氏 名	所 属
昭54.5.8	友近 琢男	教育学部
〃	胡 豊四	教育学部
〃	木藤 正典	経済学部
〃	上妻 隆榮	経済学部
〃	八牧 力雄	医学部
〃	柴内 大典	農学部
昭55.5.13	松井 良樹	教育学部
〃	河野 通弘	教育学部
〃	森本 宏	教育学部
〃	藤井 義正	教育学部
〃	濱田 峰夫	経済学部
〃	村川 勝彌	工学部
〃	小田 良助	農学部
〃	湯川 敬夫	農学部
昭56.5.12	吉元 勇	教育学部
昭57.5.25	岡村 義彦	教育学部
〃	伊藤 紫朗	教育学部
〃	肱黒 和俊	経済学部
昭58.5.10	渡邊 眞治	人文学部
〃	林 隆之	理学部
〃	服部 奨	医学部
〃	戸田 光敬	農学部
〃	中山 清次	農学部
〃	細田 勉	農学部
昭59.3.13	小西 俊造	学長
昭59.5.8	長谷 芳美	理学部
〃	藤田 英輔	医学部
〃	柳下 一愛	農学部
昭60.5.14	中野 安久	人文学部
〃	村田 憲太郎	理学部
〃	谷崎 茂俊	理学部
〃	富阪 武士	理学部
〃	大草 喜太雄	工学部
〃	木脇 祐順	農学部
〃	池田 暢幸	教養部
昭61.5.13	小西 秀勇	教育学部
〃	福田 基一	工学部
〃	菅木 浅彦	工学部
〃	吉本 彰	工学部
〃	久保 敏彦	教養部
〃	藤田 信義	教養部
昭62.5.12	岩城 秀夫	人文学部
〃	服部 碩夫	教育学部
〃	藤崎 康雄	理学部
〃	石上 浩一	医学部
〃	小林 俊策	医学部
〃	萩野 正二	工学部
〃	木村 允	工学部
〃	吉野 隆	工学部
〃	村上 允英	教養部
〃	山本 泰男	教養部
昭63.5.10	弥益 祥純	教育学部
〃	石田 裕	教育学部
〃	時弘 義雄	教育学部
〃	真田 元祐	教育学部
〃	西村 久	経済学部

称号授与年月日	氏 名	所 属
昭63.5.10	鳥越 正	医学部
〃	藤井 雄二郎	工学部
〃	佐伯 節夫	工学部
〃	石橋 功	農学部
平1.5.9	藤本 保太	教育学部
〃	水野 恭之	教育学部
〃	鈴木 重靖	経済学部
〃	林 謙次郎	理学部
〃	竹本 忠良	医学部
〃	青木 秀夫	医学部
〃	宮地 隆興	医学部
〃	矢田部 俊一	工業短期大学部
平2.5.8	中村 徹	教育学部
〃	安部 一成	経済学部
〃	新中 康弘	理学部
〃	黄 基雄	医学部
〃	百々榮 徳	医学部
〃	梶返 昭二	工学部
〃	早野 延男	工学部
〃	鈴山 實	農学部
〃	渡邊 信生	教養部
平2.6.19	栗屋 和彦	学長
〃	武下 浩	医学部
平3.5.14	三浦 肇	教育学部
〃	杉尾 守	教育学部
〃	小嶋 正己	経済学部
〃	澁谷 五郎	理学部
〃	古野 潤治	医学部
〃	酒徳 治三郎	医学部
〃	大原 資生	工学部
〃	岡嶋 昭	教養部
〃	即席 水雄	教養部
〃	横山 永三	教養部
平4.5.12	木下 謙治	人文学部
〃	水本 精一郎	人文学部
〃	佐藤 吏	教育学部
〃	北川 雪恵	教育学部
〃	倉田 吉喜	理学部
〃	松本 徹夫	理学部
〃	竹尾 和典	医学部
〃	藤原 輝男	工学部
〃	田代 忠一	工学部
平5.1.12	関谷 透	医学部
平5.3.31	藤本 稔	工学部
平5.5.11	大塚 博久	教育学部
〃	堂面 春雄	教育学部
〃	徳富 正義	教育学部
〃	小林 則子	教育学部
〃	和田 章	教育学部
〃	村上 恵	学長
〃	内野 文彌	医学部
〃	梶井 正	医学部
〃	東 俊雄	農学部
〃	松本 治康	農学部
〃	中間 碩一郎	教養部
平6.5.10	和田 敏英	人文学部

称号授与年月日	氏 名	所 属
平6.5.10	小川 國治	教育学部
〃	渡邊 敬	教育学部
〃	馬渡 淳一郎	経済学部
〃	中西 敬	医学部
〃	日高 照晃	工学部
〃	佐野 雄二	工学部
〃	畑中 顯和	農学部
〃	小林 邦彦	農学部
〃	加藤 敏郎	教養部
平6.9.13	兼子 俊男	医学部
平7.5.9	武宮 諦	人文学部
〃	八木 充	人文学部
〃	門前 貞三	教育学部
〃	板垣 忠	経済学部
〃	三戸 信人	理学部
〃	千葉 喜彦	理学部
〃	西脇 太郎三衛門	理学部
〃	高橋 學	医学部
〃	中西 弘	工学部
〃	松本 昇	医療技術短期大学部
平8.5.14	亀本 敏雄	経済学部
〃	長 琢朗	医学部
〃	伴 隆志	医学部
〃	三分一 政男	学長
〃	松田 好晴	工学部
〃	矢野 宏二	農学部
〃	鹿江 雅光	農学部
〃	古賀 秀男	教養部
〃	熊谷 寛次	教養部
〃	柏原 啓佐	教養部
〃	大田 民男	保健管理センター
平9.5.13	内山 俊彦	人文学部
〃	遠藤 徹	人文学部
〃	中野 良弘	教育学部
〃	小杉 健三	教育学部
〃	貞木 展生	経済学部
〃	永倉 勲	経済学部
〃	麻上 千鳥	医学部
〃	齋藤 隆	工学部
〃	島 敏史	工学部
〃	井手 明雄	農学部
平10.5.19	関 一雄	人文学部
〃	小川 全夫	人文学部
〃	十川 真弓	教育学部
〃	道廣 泰倫	経済学部
〃	山田 通夫	医学部
〃	瀧本 昭夫	工学部
〃	富田 眞吾	工学部
〃	西岡 道夫	工学部
平11.5.11	佐野 晴夫	人文学部
〃	石井 勇	人文学部
〃	山本 和之	人文学部
〃	皆川 孝志	教育学部
〃	降矢 順治	教育学部
〃	矢野 弘	教育学部
〃	松吉 定男	経済学部

称号授与年月日	氏 名	所 属
平11.5.11	米澤 充	経済学部
〃	座間 紘一	経済学部
〃	中間 實徳	農学部
〃	山本 きよみ	医療技術短期大学部
平11.7.13	伊藤 治英	医学部
平12.5.9	伊東 斌	教育学部
〃	川口 政宏	教育学部
〃	上村 元子	教育学部
〃	小国 信樹	理学部
〃	中澤 淳	医学部
〃	中澤 晶子	医学部
〃	蛭名 良雄	工学部
〃	平井 隆	工学部
〃	高浪 五男	工学部
〃	土屋 晋	工学部
〃	中尾 光延	工学部
〃	井上 武	農学部
平13.5.8	石井 大	人文学部
〃	秋山 泉	教育学部
〃	増田 正勝	経済学部
〃	原 哲彦	理学部
〃	加屋野 洋	理学部
〃	江里 健輔	医学部
〃	幡中 憲治	工学部
〃	會田 忠義	工学部
〃	沖田 豪	工学部
〃	末岡 修	工学部
〃	柴田 浩	農学部
平13.11.13	篠崎 文彦	医学部
平14.5.14	畑地 正憲	人文学部
〃	片山 壽男	理学部
〃	三好 哲彦	理学部
〃	山本 惺史	理学部
〃	山岡 郁雄	理学部
〃	徳力 幹彦	農学部
〃	高橋 進	農学部
平14.6.18	廣中 平祐	学長
平14.10.8	唐津 邦利	教育学部
〃	友永 進	医学部
〃	西澤 義矩	工学部
〃	西口 毅	農学部
平15.5.13	松本 正男	人文学部
〃	近藤 喬一	人文学部
〃	林 恒徳	教育学部
〃	金田 道和	教育学部
〃	及川 順	経済学部
〃	名畑 恒	経済学部
〃	岩田 允夫	理学部
〃	久保田 幸雄	理学部
〃	西村 祐二郎	理学部
〃	中尾 勝實	工学部
〃	水田 義明	工学部
〃	日下 達朗	農学部
〃	足立 収生	農学部
〃	大西 堂文	農学部
平16.5.18	重岡 徹	教育学部

称号授与年月日	氏 名	所 属
平16.5.18	齋藤 正彦	教育学部
〃	横山 省三	教育学部
〃	岡村 豊太郎	教育学部
〃	河合 洋祐	教育学部
〃	平野 充好	経済学部
〃	森松 光紀	医学部
〃	米田 純子	医学部
〃	宮本 政英	工学部
〃	塩月 善晴	工学部
〃	栗井 郁雄	工学部
〃	中岡(田畑)睦雄	工学部
〃	柏木 孝夫	工学部
〃	後藤 誠史	大学院医学研究科
平17.4.1	今田 淳	教育学部
〃	星出 一巳	教育学部
〃	米谷 雅之	経済学部
〃	南 正義	経済学部
〃	吉村 弘	経済学部
〃	志磨 裕彦	理学部
〃	田澤 輝武	理学部
〃	長谷部 勝彦	理学部
〃	沖田 極	医学部
〃	岩田 隆子	医学部
〃	溝田 忠人	工学部
〃	岡本 健一	工学部
〃	中川 浩二	工学部
〃	梶原 忠彦	農学部
平18.4.1	坂手 恭介	経済学部
〃	岡光 一浩	人文学部
〃	伊豆 大和	人文学部
〃	吉賀 將夫	教育学部
〃	宮崎 擴道	教育学部
〃	中村 幸士郎	教育学部
〃	田代 直人	教育学部
〃	野波 健彦	教育学部
〃	下和田 功	経済学部
〃	飯石 一明	理学部
〃	遠藤 克彦	理学部
〃	福本 哲夫	医学部
〃	河野 俊一	工学部
〃	竹中 俊介	工学部
〃	大佐々 邦久	工学部
〃	山口 静馬	工学部
〃	小倉 興太郎	工学部
〃	池田 攻	工学部
〃	松浦 満	工学部
〃	加藤 昭夫	農学部
〃	谷口 仁	農学部
〃	萬場 光一	大学院連合獣医学研究科
平18.5.16	加藤 紘	学長
〃	河合 伸也	医学部
平19.4.1	靄岡 昭夫	人文学部
〃	田中 晋	人文学部
〃	三好 洋二	教育学部
〃	熊谷 信順	教育学部
〃	堂野 佐俊	教育学部

称号授与年月日	氏 名	所 属
平19.4.1	増田 勉	教育学部
〃	河津 清	教育学部
〃	藤原 貞雄	経済学部
〃	中尾 訓生	経済学部
〃	杉原 美一	大学院理工学研究科
〃	大城 紀代市	大学院理工学研究科
〃	棚田 嘉博	大学院理工学研究科
〃	浮田 正夫	大学院理工学研究科
平20.4.1	奥津 聖	人文学部
〃	岩本 光悦	教育学部
〃	古川 浩	教育学部
〃	末島 浩	教育学部
〃	西山 壯一	農学部
〃	早川 誠而	農学部
〃	石原 得博	大学院医学系研究科
〃	内藤 克輔	大学院医学系研究科
〃	東 玲子	大学院医学系研究科
〃	佐々木 義明	大学院理工学研究科
〃	井上 透	大学院理工学研究科
〃	濱田 純夫	大学院理工学研究科
〃	大坂 英雄	大学院理工学研究科
平21.4.1	平山 豊	人文学部
〃	添田 建治郎	人文学部
〃	橋本 寛	経済学部
〃	古賀 大三	農学部
〃	甲斐 一成	農学部
〃	早崎 峯夫	農学部
〃	那須 哲之	農学部
〃	福本 陽平	大学院医学系研究科
〃	坂部 武史	大学院医学系研究科
〃	古川 漸	大学院医学系研究科
〃	君波 和雄	大学院理工学研究科
〃	加藤 崇雄	大学院理工学研究科
〃	井上 克司	大学院理工学研究科
〃	福政 修	大学院理工学研究科
〃	中村 安弘	大学院理工学研究科
〃	刈谷 文治	大学情報機構
平21.7.21	塚原 正人	大学院医学系研究科
平22.4.1	村田 秀一	大学院理工学研究科
〃	小嶋 直哉	大学院理工学研究科
〃	尼川 創二	人文学部
〃	小谷 典子	人文学部
〃	外山 英昭	教育学部
〃	森田 俊介	教育学部
〃	長谷川 光圀	経済学部
〃	柳澤 旭	経済学部
〃	松富 直利	農学部
〃	滝本 晃一	農学部
〃	阿部 憲孝	大学院医学系研究科
〃	神谷 晃	大学院医学系研究科
〃	清 俊夫	大学院医学系研究科
〃	山田 治	大学院医学系研究科
〃	安藤 良文	大学院理工学研究科
〃	小宮 克弘	大学院理工学研究科
〃	加納 隆	大学院理工学研究科
〃	栗山 憲	大学院理工学研究科

称号授与年月日	氏 名	所 属
平22.4.1	三好 正毅	大学院理工学研究科
〃	和田 憲造	大学院理工学研究科
〃	古川 浩平	大学院理工学研究科
〃	田中 稔	大学院理工学研究科
平22.4.1	酒井 義郎	大学院理工学研究科
〃	平田 牧三	大学教育機構
平23.4.1	豊澤 一	人文学部
〃	池田 幸夫	教育学部
〃	原 純一郎	大学院理工学研究科
〃	ヒギンズ マイケル レオ	大学院理工学研究科
平24.4.1	丸本 卓哉	学長
〃	西田 輝夫	大学院医学系研究科
〃	瀧口 治	経済学部
〃	吉田 一成	教育学部
〃	中村 友博	人文学部
〃	辻 正二	人文学部
〃	貞方 昇	教育学部
〃	福田 廣	教育学部
〃	名島 潤慈	教育学部
〃	渡邊 正	教育学部
〃	山田 次郎	教育学部
〃	上杉 信敬	経済学部
〃	進藤 晴夫	農学部
〃	青島 均	大学院医学系研究科
〃	佐々木 功典	大学院医学系研究科
〃	中村 彰治	大学院医学系研究科
〃	芳原 達也	大学院医学系研究科
〃	前川 剛志	大学院医学系研究科
〃	松崎 益徳	大学院医学系研究科
〃	日野田 裕治	大学院医学系研究科
〃	高橋 睦夫	大学院医学系研究科
〃	野口 三千彦	大学院医学系研究科
〃	増山 博行	大学院理工学研究科
〃	相原 正樹	大学院理工学研究科
平25.4.1	三池 秀敏	大学院理工学研究科
〃	田中 誠二	人文学部
〃	藤井 大司郎	経済学部
〃	糸原 義人	農学部
〃	松下 一信	農学部
〃	梅田 昭子	大学院医学系研究科
〃	服部 幸夫	大学院医学系研究科
〃	松田 昌子	大学院医学系研究科
〃	河野 道生	大学院医学系研究科
〃	久田見 守	大学院理工学研究科
〃	田頭 昭二	大学院理工学研究科
〃	大石 勉	大学院理工学研究科
〃	田中 正吾	大学院理工学研究科
平26.4.1	西村 順子	教育学部
〃	深田 三夫	農学部
〃	林 俊春	共同獣医学部
〃	中村 和行	大学院医学系研究科
〃	井上 裕二	大学院医学系研究科
〃	中山 則昭	大学院理工学研究科